

---

# [イナg]笑顔の約束・シュウ・

みかん

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

「イナ<sup>g</sup> 笑顔の約束・シユウ・

### 【Zマーク】

Z2205BA

### 【作者名】

みかん

### 【あらすじ】

恋の物語？

映画沿いかなあ？ぜんぜんかなあ？

わからないけど、シユウとの恋物語だけビ、  
基本は映画沿いです。

ちょっとネタバレあるかも・・・

## プロローグ

・・・・・ キミは、笑わない・・・・・

此処にやつて來た時から、キミは笑わなくなつた。

ねえ、笑つてよ・・・・・

今までの笑顔はどうしたの？

何時も楽しそうにサッカーしてたのに・・・・・  
どうして・・・・・

笑つてよ・・・・・

キミに似合つのは笑顔だから・・・・・

今のキミは、キミじやない・・・・・

キミらしくない・・・・・

笑顔を忘れたのなら、取り戻して見せる！－

僕は強くなる！－

必ず・・・必ず守つてみせる！――

## プロローグ（後書き）

ワケわからん……  
しかも、恋愛じやないじゃん！

しかも、映画沿いにしたいからって、  
映画見てもないのに、無理しとるう……

駄作者の私を助けてください……

## 設定

菜美瀬 真理 なみせまり

- ・雷門サツカー部1年
- ・転校生でエリートシード
- ・2体の化身使い（名前などは決めてません）
- ・緑のショートカットで水色の瞳
- ・凄く賢くて、美人&amp;可愛い
- ・シユウと白竜の幼なじみ
- ・実はシユウのことが……

シユウ

- ・エンシャントダークのキャプテン
- ・真理の幼なじみ
- ・白竜のライバル
- ・見た目は映画などと、一緒に！
- ・真理のことが好き

白竜

- ・アンリミテッドシャイニングのキャプテン
- ・真理の幼なじみ
- ・シユウのライバル
- ・見た目は映画などと、一緒に！
- ・真理のことが好き

後は、雷門サッカー部の皆さんです！

## 設定（後書き）

真理の化身のアイテアください！！  
マサキ以下のネーミングセンスの私を  
助けてください！！

# 転校生？！

伸「天馬あ！急がないと、朝練、間に合わないよお！」

葵「天馬！早くしないと私たちも遅れるよ！」

木枯らし荘まで來ていた伸介と葵・・・

天「葵！伸介！先に行つてて！！」

伸 & a m p ; 烏 - | あ • • • • • • ツ

一人はため息をつきながらも走つていつた。

天「ヤバイよ！—朝練遅れちゃう！」

天馬が雷門の近くまで来ると、うつむいている女の子を見つけた。

天馬がみていると、それに気づいた女の子が、中へ逃げていった。

天「不思議な子・・・・・あつ！朝練！！」

結局天馬は、朝練に遅れ、

卷之三

葵「あれは、天馬が悪いんでしょ！」

伸 「二人とも！先生來たよ！」

伸介の声と同時に教室が静かになった。

先「それでは、HRを始める！  
今日は転校生が来ている！！！」

天&amp;伸&amp;葵「えつ？！」

先「では、入つてこい！！」

先生の後に出でてきたのは、  
今朝、見かけた女の子だった。

天「えつ？！」

先「紹介する！！菜美瀬真理だ！！」

そう言って、黒板に名前を書いた。

真「菜美瀬です・・・よろしくお願ひします」

自己紹介なのに、彼女は笑わなかつた。

## 転校生？！（後書き）

何が書きたいかわからないww  
二次創作いがいに難しいww

シユウの所に、どうせひつて繋げよう??

## サッカー部へ！！

先「席は・・・・・・後ろが空いてるな」

先生が見たのは、天馬の後ろの席だった。

真理が席にすわると、天馬は後ろを振り向いた

天「ねえ？朝、あつたよね？」

真理は、小さくうなずいたが、  
それ以外は何も言わなかつた。

放課後

天馬は、真理の方にからだを向けた。

天「部活やるの？」

ま「・・・・・・・・うん」

天「なに部？」

ま「・・・・・・・・サッカー部」

天「そうなの？」

そこに伸介と、葵が来た。

伸「天馬！――どうしたの？」

天「えつ？！あつ！伸介か」

伸「僕じや嫌だつた？・・・どうしたの？」

天「菜美瀬さんが、サッカー部に入りたいらしいよ。」

伸 &amp; 葵「あつ！ そうなの？」

ま「……うん。私のことは、真理でいいよ……」

葵「わかつた！ なら、私のことは葵って読んで……！」

伸「僕は伸介！ ……よろしく」

天「俺は、天馬だよ」

ま「…………よろしく…………」

伸「あ……天馬……」

天「どうした？ 伸介？」

伸「早く行かないと時間無いよ」

天「や……ヤバイ！ 急げ！」

ま「…………」

真理は、天馬たちの後ろについて  
サッカー部にむかった。

天「ここが、サッカー部だよ！」

そう言って、部室に入った。

神「遅いぞ！ 天馬…………その子は？」

後ろに隠れていた真理は、前にでた。

ま「菜美瀬 真理です……」

サッカー部・ 入部希望です……」

三「入部希望か……」

伸「真理は、スッゴいサッカーが上手いんです」

神童は、監督の方を向いた。

神「監督！今日は入部テストですか？」  
き「いや、菜美瀬の入部を認める。」

1年以外「えつ？！」

## サッカー部へ！！（後書き）

中途半端でいいません！

真理の化身の名前を募集集中です

伸介が、真理のサッカーの凄さを知っていたのかと、  
1年が、驚かなかつたのは、実は体育で  
サッカーをして、既に知ってるからです。

まるで、裏エピソードｗｗ

アンケート止めたｗｗ

書くのを決めた！

## 帰り道（前書き）

今回は、時間がなくて、凄く短いです。  
それでも、合間を見つけたら書いていこうと  
思います。

がんばりますね！

## 帰り道

神「どうしてですか？監督！」  
き「菜美瀬の凄さは、私も知っている。

菜美瀬の実力は本物だ・・・・・

神「そうですか・・・・・・」

神童が後ろに下がったのを見て、霧野が来た。

霧「（おい！神童！あの新人部員・・・・・大丈夫なのか？）」

神「監督が言うのだから、心配ないだろう・・・

霧「そうか・・・・・」

練習は、とくに変わった事もなく、  
まりも普通のプレイをしていた。

プレイを見て安心したのか、終わる頃には、  
すっかり馴染んでいた。

けれども真理は、口を開かなかつた。

そして、練習が終わつたあと・・・・・

天「真理！－！」

ま「・・・・・・なに？」

真理が足を止め、振り向いた。

天「このあと暇かな？俺の家でパーティーしようよー。」  
ま「…………わかった」

真理は天馬の後ろについて、木枯らし荘にむかった。

木枯らし荘に着いた頃には、すでに  
葵と、伸介と、狩屋がきていた。

## 帰り道（後書き）

今やつてこることが

ある程度片付いたら、新しいのを書きます。

まあ、私の好きなアニメで、イナゴに  
あうので、考へてもなくして、  
友達の家で見つけた、オリジナルの卵  
見つけて、

（あつーしゅうじゅうやつー）

つて思いました。

ちなみに、いつかはやめませんが、  
新しいのは、下書き無しの、  
書きたい放題の適当なやつになります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2205ba/>

[イナg]笑顔の約束・シュウ・

2012年1月14日20時50分発行